

## 知的創造プラットフォーム構築の考え方

- 1 イノベーション創出に資する先端計測分析技術・機器を開発するための強力な共通基盤型研究開発プラットフォームを構築する。
- 2 本プラットフォームに係るステークホルダーとして、産学官における計測分析装置開発者、計測分析装置ユーザー、プロジェクト研究関係者、研究・教育・行政・企業マネジメント関係者、科学技術関連メディア関係者等を幅広く糾合する体制を目指す。
- 3 上記関係者として、研究者、技術者、学生、市民、政治・行政関係者等の立場を問わず参加可能とする。
- 4 プラットフォーム運営において、公平・公正性、公開・透明性、関係組織間のバリアーフリーの徹底を目指す。
- 5 プラットフォームの運営・活動状況に関する客観的評価機能を重視し、プラットフォーム機能を高めると共に、活動の持続性を確保する。

表 知的創造プラットフォーム構築スケジュール（予定）

時期	プロトタイプ機の 共用	ネットワーク機能	調査機能、 人材育成機能等
平成23年2月～	公募要領検討・準備   公募 評価選考  共用開始	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">           【先端計測分析技術・機器開発小委員会】※            ・プラットフォーム構築に係るタスクフォースを、小委員会に設置            ・ネットワーク機能等の具体化に向け、検討         </div> <div style="text-align: center; font-size: 2em;">↑↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           【先端計測分析技術・機器開発小委員会】※            ・プラットフォーム構築のとりまとめ         </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">           【先端計測分析技術・機器開発小委員会】※            ・調査機能、人材育成機能の具体化に向け検討開始         </div> <div style="text-align: center; font-size: 2em;">↓</div>
3月～4月			
5月～9月			
10月～			
平成24年2月			
平成24年4月～		ネットワーク機能の整備	調査機能、人材育成機能整備

※ 先端計測分析技術・機器開発小委員会の設置を前提とする